

## 伊藤 謙一 議員

### 英語教育の充実

**問** 市は小中学生の英検取得を補助する英検チャレンジの推進や、授業での話す・聞く英語の環境整備のために外国人講師（ALT）を拡充しているが、更なる実践の場が必要だと感じることから今後の英語教育の展開を伺う。

**答** 国の教育に先駆け本市は平成30年度から3・4年生で週1回の英語授業が始まり、5・6年生は現在週1回の授業が2回に拡充され教育現場の英語授業は3倍になる。また、本年度から1・2年生を対象として、英語DVD教材を活用した学習を実施している。これは市内全ての小学校の教室に電子黒板機能付きプロジェクターが整備されたことにより可能になった。今後早いうちに、聞く・話す・発音する基礎を養いたい。また、実践的に英語を話す・聞く授業の充実のため、さらにALTの拡充を図っていきたい。

### 観光インバウンド政策

**問** 外国人旅行者の誘客を目的とした施策が必要と考える。本市への宿泊を希望する外国人旅行者に対して、宿泊補助が検討できないか。

**答** 藤枝市や他市の事例のように、外国人旅行者を市内に宿泊誘致した旅行者に対して補助する施策は、現在本市では行っていない。今後、メリットと支出を踏まえ検討していきたい。



ラグビー観戦でエコパを訪れた外国人

### 市役所の駐車環境の改善を求む

**問** 市本庁舎の駐車場は、進入して駐車スペースが見つからなかった時は、バックで戻らなければならぬ。スムーズに駐車するために誘導員の配置を望むが、どうか。

**答** 恒常的に混雑している状況ではないので、誘導員を配置する必要はないと考えている。

**問** 駐車スペースの幅が大変狭いため、ドアが隣接車に接触するトラブルが発生している。市民の利便性向上から、区画線の引き直しの際に、駐車幅の拡幅も併せて行うべきと考えるが、どうか。

**答** 区画線を二重にしたU字型の白線に変更した場合、幅は広がるが、駐車台数が現在と比較して40数台減少する。職員駐車場を来客用に振り替えることは、今後の検討課題と考えている。

## 田中 克周 議員



本庁舎北側駐車場

### ショッピングセンターに

#### 期日前投票所を

**問** 「ついでに投票に行く」ことができるショッピングセンターを期日前投票所とすることにより、投票率低下への歯止め策としては、どうか。

**答** 市民の利便性向上及び投票促進効果はあるが、LAN配線の整備や、職員・投票立会人の増員が必要となる。費用対効果を考慮し検討していきたい。